

# 令和 6 年度地方公共団体実行計画策定研修

## 事前課題説明資料

環境省環境調査研修所

令和6年10月7日（月）～10月11日（金）

本研修は、環境省地域脱炭素政策調整担当参事官室が、環境省業務「地域脱炭素ステップアップ支援事業」委託事業者である有限責任監査法人トーマツとともに運営します。

# 研修での理解を深めるために、次の事前課題に対応してください



本研修では、研修期間内に「簡易的な地方公共団体実行計画（区域施策編）」を策定することを一つの目標としております。  
限られた時間で多くの研修内容を予定しておりますので、研修に積極的に参加し研修期間内に貴市町村の「簡易的な地方公共団体実行計画（区域施策編）」の策定ができるように、以下の事前課題にご対応ください。

No.	課題	P.	所要時間の目安
①	貴市町村における既存の取組を整理する	4	45分
②	貴市町村の特徴を把握する	6	40分
③	貴市町村のCO2排出量の傾向を把握する	9	30分
④	事前アンケートに回答する	12	5分

課題①～③については、●月●日までに文章を修正した「区域施策編（ひな形）」（別添）及び「施策整理シート」のファイル名に貴市町村の自治体名を追加した上で、下記メールアドレスに提出してください。

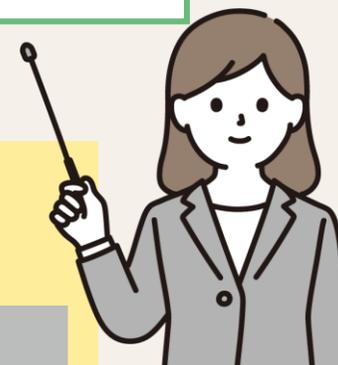
メールで資料を提出する際は、件名は以下としてください：  
【R6年度実行計画策定研修】事前課題の提出

事前アンケートは●月●日までにアンケートフォームよりご回答ください（P11参照）。

余力があれば、以下の追加課題もご提出ください。

No.	追加課題	P.
①	都道府県の動向を把握する	13
②	貴市町村の地域課題を把握する	14

質問等がございましたら、下記メールアドレスまでご連絡ください：



# 事前課題の前提として、まずは環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」をご一読ください

下記のURLから「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」をダウンロードし、ご一読ください。

環境省「策定・実施マニュアル・ツール類 | 区域施策編」:

[https://www.env.go.jp/policy/local\\_keikaku/manual3.html](https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/manual3.html)

研修に向けた一読については策定マニュアルの簡易版で構いませんが、余裕のある方は本編もご覧ください。

①



策定・実施マニュアル・ツール類 | 区域施策編

課題解決のためのツールマップ

施行状況調査等で挙げられた課題と、その課題の解決に役立つツールが分かるマップを作成しました。



マニュアル・ツール一覧



②

マニュアル類

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（本編）」（令和6年4月） [PDF: 11.3MB]

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（本編）」HTML版 ※準備中

地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定・改定及び実施について、基本的な考え方や手順等をマニュアルとして取りまとめています。

（4月1日）地方公共団体実行計画（区域政策編）策定・実施マニュアル（本編）（令和6年4月）を改定しました。  
[マニュアルの主な改定箇所説明資料（令和6年4月）](#) [PDF: 216KB]

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）」（令和6年4月） [PDF: 11.2KB]

区域の温室効果ガス排出量の推計や削減目標の設定等に係る方法論について取りまとめました。  
（4月1日）地方公共団体実行計画（区域政策編）策定・実施マニュアル（算定手法編）（令和6年4月）を改定しました。  
[マニュアルの主な改定箇所説明資料（令和6年4月）](#) [PDF: 359KB]

「地域主導の再エネ・地域脱炭素に関する取組事例集」（令和6年4月） [PDF: 7.94MB]

地域の事業者や住民、行政が協力して推進しており、脱炭素のみならず地域に多様なメリットをもたらしている事例を紹介しています。事例別に事業の経緯、実施プロセス、事業の効果等を整理しています。

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（事例集）」（令和4年3月） [PDF: 15.7MB]

地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（事例集）は、地方公共団体が、地方公共団体実行計画（区域施策編）を策定（改定を含みます。）及び実施する際に参考となり得る事例を記載しています。  
本編の改定に伴い、事例を追加しました。（令和4年3月）

「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（簡易版）」（令和6年4月） [PDF: 6.14MB]

地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定に必要な最低限の内容を解説しています。策定の手順及びひな型について整理しました。  
（4月1日）地方公共団体実行計画（区域政策編）策定・実施マニュアル（簡易版）（令和6年4月）を改定しました。  
[マニュアルの主な改定箇所説明資料（令和6年4月）](#) [PDF: 114KB]

③

地方公共団体実行計画（区域施策編）  
策定・実施マニュアル（簡易版）

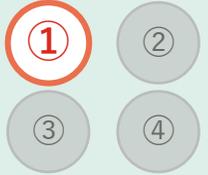
令和6年4月

環境省

大臣官房 地域脱炭素政策調整担当参事官室



区域施策編を公表している近隣自治体の計画もぜひ一読し書きぶりなどの参考にしてください



# まずは貴市町村における既存の脱炭素やエネルギー関連の取組を整理してください (1 / 2)

## STEP 1

- 幅広く庁内照会を行ったうえで、別添の「施策整理シート」の「実施状況」の列で、貴市町村における既存の取組に○をつけてください（他に実施している取組がある場合は、必要に応じて「施策」の列に追加してください）
- その上で、「重点」の列で、貴市町村として重点的に推進している取組にさらに○をつけ、隣の列で重点的に進めている背景をわかる範囲で整理してください。さらに、「優先順位」の列に高い順から取組の優先順位を記入し、その隣の「関係部署」の列には、庁内照会等がしやすくするように、各取組の関係部署を記載してください
  - 貴市町村の環境基本計画や総合計画など、関連計画を参考にすると概観がわかります。
  - まだ実施していないが、今後実施する予定の取組、または検討している取組等もあればご記入ください。

## ポイント

- 分野ごとの取組の例として、下記の例をご参考にしてください
- |          |  |
|----------|--|
| エネルギー供給  | 供給できる再エネの増加に向けた取組（例：導入ポテンシャルの調査など）                           |
| エネルギー需要  | 再エネの需要・消費を増やすための取組（例：ZEH・ZEB化の推進、事業者・消費者への普及啓発など）            |
| 需要・供給の複合 | 効率的な発電・電力消費に向けた取組（例：VPPやマイクログリッドの構築など）                       |
| 非エネ      | エネルギー以外の分野における脱炭素化に向けた取組（例：3Rの推進、メタン排出量の削減など）                |
| 土地利用・吸収源 | 土地・自然環境を活用した取組（例：森林の適切管理、生物多様性の保全、藻場（海草・海藻）の適切管理（ブルーカーボン）など） |
| 横断的施策    | 部門間連携や広域連携による取組（例：条例の制定、クレジット制度の構築、既存計画への削減目標の反映）            |
- 上記の分類は必要に応じて変更しても構いません



別添「施策整理シート」

<資料2> 施策整理シート

部門分類	施策	実施状況		重点とした背景	備考	優先順位	関係部署
		実施状況	重点				
エネルギー供給	再エネの余剰ポテンシャルを有する地域と連携した電力の供給	○	○	再エネポテンシャルを最大限に活用できれば余剰分が期待されるため			
エネルギー需要	再エネの余剰ポテンシャルを有する地域と連携した電力の供給 （注：再エネは地域の再エネと見なされ、電力供給システムとの連携）						
	太陽光発電や太陽熱利用のポテンシャルの見直し（ソーラーシェアリング）						
	地域資源のエネルギー利用を目的とした木質バイオマス設備の導入補助						
	耕作放棄地を活用した太陽光発電						
産業型太陽光発電（ソーラーシェアリング）				※産業型太陽光発電：農地に農用な用途かつ同時に発電できる実証を立て、土壌腐蝕に太陽光を電気に変換する設備を設置し、実業を継続しながら発電を行う取組			
海洋温差発電設備の導入							
再エネ前受変電設備を目的とした収益創出型補助制度							
水素ステーションの整備							
再エネの余剰電力を活用した発電							
建築物省エネ法に基づく届出・表示・性能向上計画認定の円滑な運用							
省エネ住宅に係る普及啓発							
新築住宅のZEH化・ZEM化の推進を目的とした補助事業							
新築建築物のZEH化の推進を目的とした補助事業							
公共建築物・民間建築物のZEH化・ZEM化							
地域木村利用促進に向けた取組							
公共施設への再エネの導入促進							
公共施設へのCO2削減効果の高い設備機器の導入							
公共施設のZEH化の推進							
環境と省エネの両立を目的とした取組							
大規模事業者を対象とした脱炭素化対策計画策定制度							
事業者を対象とした省エネ診断							
建築物に環境エネルギー性能の向上と自然エネルギー導入の検討を義務付ける制度							
高効率認定、高効率建築物トップアワード、高効率照明、高性能ボイラ、コージェネレーション等についての普及啓発・費用補助							
高効率省エネ機器や高効率照明の普及促進及び消費者への情報提供							



# まずは貴市町村における既存の脱炭素やエネルギー関連の取組を整理してください（2 / 2）

## STEP 2

- 「STEP 1」で整理した取組の内、貴市町村にとって特に代表的と考えられる取組を分野ごとに2～4程度を選び、別添「区域施策編（ひな形）」の第1章（5）（P.5～8）の該当する部分に転記し、文章を完成させてください
- 転記する際は、貴市町村で特に重要と思われる取組（優先度が高い取組）から順番に記載してください

関連計画から代表的な取組を確認したり、関連部署の職員（複数年在籍している職員が望ましい）に聞き取り調査を行うなどによって転記する取組を選んでください

### 別添「区域施策編（ひな形）」

#### 事前課題① 貴市町村における既存の取組を整理する

「エネルギー供給」、「エネルギー需要」、「需要・供給の複合」、「非エネ」、「土地利用・吸収源」、「横断的施策」といった視点から、貴市町村が実施している取組に関する情報を収集・整理してください。

複数の分野に関係するような取り組みについては、最も関連が深いと考えられる分野に記載してください。

以下（黄色セルの箇所）に記入してください。

#### ■エネルギー供給

##### 自治体の取り組み内容

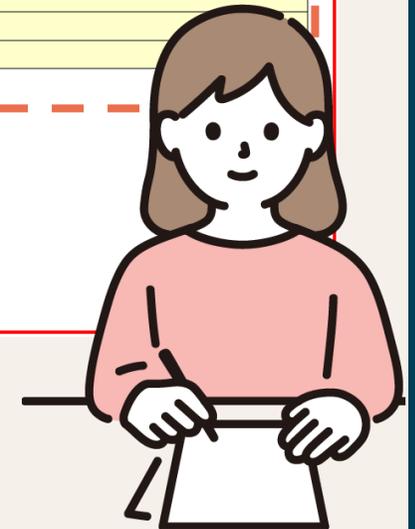
（例）

- 再エネの余剰ポテンシャルを有する地域と連携した電力の供給。
- 非常時には地域内の再エネなどから自立的に電力を供給するシステムの構築。
- 太陽光発電や太陽熱利用のポテンシャルを見る化（ソーラーマッピング）。
- 地域資源のエネルギー利用を目的とした木質バイオマス設備の導入補助。
- 海洋温度差発電設備の導入。

※必要に応じて、行は追加してください。



貴市町村における分野ごとの既存の取組が記入された「施策整理シート」と、特に代表的な取組が転記された「区域施策編（ひな形）」（P.5～8）ができましたら、課題①は完了です！



## 次に、貴市町村の特徴を整理してください（1 / 5）

## STEP 1

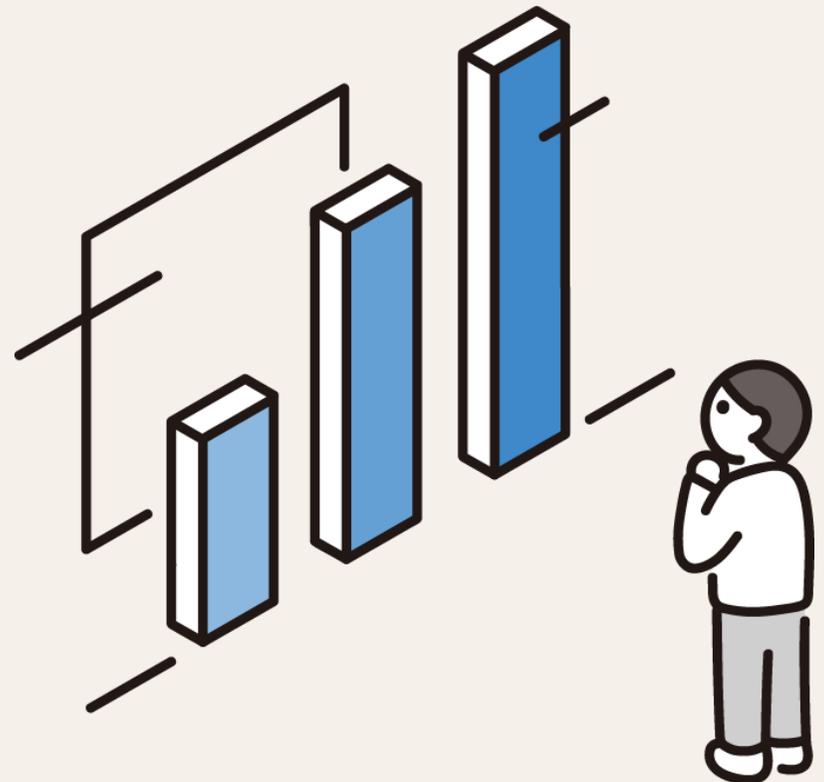
- 以下の調査項目ごとに、必須項目について調べグラフや表に整理した上で、余力があれば貴市町村の特性を踏まえて任意項目から適切な項目を選び、同様に調べて整理してください。
- 項目を整理する際は、次ページに書いてある資料から、該当するグラフや表をコピーし一つのファイルに張り付けてまとめておいてください（STEP 2では「区域施策編（ひな形）」に転記していただきます）

分類	必須項目	任意項目
自然的条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴市町村の<u>地勢</u></li> <li>貴市町村の<u>気候概況</u>（年平均気温、月別の降水量、月別の日照時間など）</li> </ul>	—
社会的条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴市町村における<u>年齢3区分別の人口の現状までの推移と将来推計</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴市町村における<u>社会増減と自然増減の推移</u></li> <li>貴市町村における<u>世帯数の現状までの推移</u></li> </ul>
経済的条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴市町村における<u>産業別</u>（第1次、第2次、第3次）<u>人口の推移</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴市町村の<u>製造品出荷額の推移</u></li> <li>貴市町村の<u>産業分類別の従事者数と構成比</u>（最新年度）</li> </ul>

貴市町村に関する情報を幅広く整理していた方が、当日は有意義な議論ができますので、可能な方は任意項目や他に区域施策編の策定に活用できそうな項目についても貴市町村の特徴について整理しておいてください

## ポイント

- 左記の調査項目に関する情報は、次ページ以降に記載されている資料等を活用して収集してください



# 次に、貴市町村の特徴を整理してください (2 / 5)

## STEP 1 (続き)

- 6 ページに記載されている調査項目は、下記の資料やウェブサイトなどを活用して整理してください

### 資料・ウェブサイト名

- 気象庁「過去の気象データ検索」

### その他参考となる資料等

- 貴市町村の景観計画
- 貴市町村の都市計画マスタープラン

自然的条件

### 検索方法

過去の気象データ検索

①

①：「都道府県・地方を選択」から貴市町村を選択してください

③：貴市町村の気温などの平年値をご確認ください

札幌(石狩地方) 平年値(年・月ごとの値) 主要要素

要素	気圧		降水量	気温		
	現地平均 (hPa)	海面平均 (hPa)	合計 (mm)	平均 (°C)	日最高 (°C)	日最低 (°C)
統計期間	1991~2020	1991~2020	1991~2020	1991~2020	1991~2020	1991~2020
資料年数	30	30	30	30	30	30
1月	1009.8	1013.2	108.4	-3.2	-0.4	-6.4
2月	1010.4	1013.7	91.9	-2.7	0.4	-6.2
3月	1009.8	1013.1	77.6	1.1	4.5	-2.4
4月	1008.8	1012.0	54.6	7.3	11.7	3.4
5月	1007.4	1010.6	55.5	13.0	17.9	9.0
6月	1005.9	1009.0	60.4	17.0	21.8	13.4
7月	1005.3	1008.3	90.7	21.1	25.4	17.9
8月	1006.9	1009.9	126.8	22.3	26.4	19.1
9月	1010.3	1013.4	142.2	18.6	22.8	14.8
10月	1012.6	1015.8	109.9	12.1	16.4	8.0
11月	1012.6	1015.9	113.8	5.2	8.7	1.6
12月	1010.7	1014.1	114.5	-0.9	2.0	-4.0
年	1009.2	1012.4	1146.1	9.2	13.1	5.7

③

データの種類

②

②：「年・月ごとの平年値を表示」を開いてください

URL : <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>



# 次に、貴市町村の特徴を整理してください (3 / 5)

## STEP 1 (続き)

- 6 ページに記載されている調査項目は、下記の資料やウェブサイトなどを活用して整理してください

### 資料・ウェブサイト名

- RESAS (地域経済分析システム)

### その他参考となる資料等

- 国立社会保障・人口問題研究所
- 国勢調査
- 貴市町村が位置する都道府県の統計情報
- 貴市町村の統計情報

社会的条件

### 検索方法

①

①：「地域を選択する」から貴市町村を選択し、「一括サマリーデータ生成」を押してください

②：自動的にダウンロードされるファイル (ZIP) を開き、貴市町村の人口や地域経済などに関する項目をご確認ください

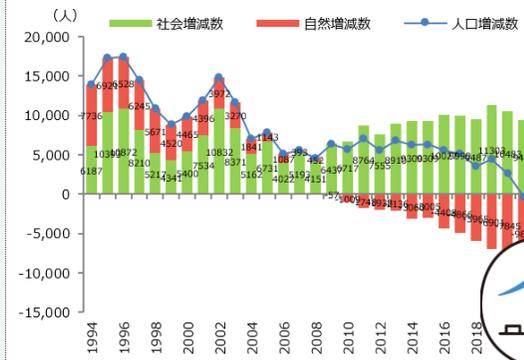
URL : <https://summary.resas.go.jp/summary.html>

### ③ 自然増減・社会増減の推移

人口マップ>人口増減 → ③

②

・現在までの人口推移に「出生・死亡による自然増減」「転入・転出による社会増減」の2つの要因が与えた影響を確認できます。



# 次に、貴市町村の特徴を整理してください (4 / 5)

## STEP 1 (続き)

- 6 ページに記載されている調査項目は、下記の資料やウェブサイトなどを活用して整理してください

### 資料・ウェブサイト名

- 環境省「地域経済循環分析」

### その他参考となる資料等

- 経済センサス・工業統計調査
- 貴市町村が位置する都道府県の統計情報
- 貴市町村の統計情報

経済的条件

※③のファイルを作成するためには、Office365 (Word, Excel, PPTなど) のアプリケーションを一旦閉じる必要がありますので、ご注意ください

### 検索方法

① 「地域経済の“今” 地域経済循環分析自動作成ツール」を開き、「2020年試行版 Ver.7.0」のZipファイルをダウンロードしてください



② 「地域経済循環分析自動作成ツール」を開き、「2020年試行版 Ver.7.0」のZipファイルをダウンロードしてください

② Zipファイル内の「StartPro2020.exe」のファイルを開き、「地域経済循環分析ファイルの作成」を選択した上で、ご自身の自治体を選択し、「計算」を押してください

必要に応じてその他の項目もご確認・ご活用ください

URL : <https://chiikijunkan.env.go.jp/manabu/bunseki/>

## 次に、貴市町村の特徴を整理してください（5 / 5）

## 別添「区域施策編（ひな形）」

## 第3章 地域特性

以下に示す●●市町村の自然的・社会的条件を踏まえ、区域施策編に位置づけるべき施策の整理を行います。また、他の関係行政施策との整合を図りながら、地球温暖化対策に取り組むこととします。

## 事前課題② 地域の特徴を把握する

貴市町村の「地域の特徴」（産業構造や土地利用の状況等）について情報を収集し、整理してください。

## 1 地域の特徴

## (1) 地域の概要

- 市町村は、(地域の成り立ち、位置、面積など)となっています。



図▲ ●●市町村の地勢



## STEP 2

- 「STEP1」で収集・整理したデータを、別添「区域施策編（ひな形）」の第3章（P.12～18）に転記し、グラフや図表の上部の文章を完成させてください

区域施策編を公表している近隣自治体の書きぶりを参考にとすると具体的なイメージが沸きます

貴市町村の特徴に関するデータや表・グラフなどを整理したファイルと、該当する表・グラフなどが転記され、文章が完成した「区域施策編（ひな形）」（P.12～18）ができましたら、課題②は完了です！



# 次に、「自治体排出量カルテ」を活用して、 貴市町村のCO2排出量の傾向を把握してください（1 / 3）

## STEP 1

- 下記のURLから貴市町村の「自治体排出量カルテ」をダウンロードし、「①CO2排出量の現状把握」のシートを開き、貴市町村において排出量が多い部門、その経年変化の傾向等を把握してください。

URL : [https://www.env.go.jp/policy/local\\_keikaku/tools/karte.html](https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/karte.html)



## ポイント

- 「自治体排出量カルテ」は、以下の手順でダウンロードしてください



- 「自治体排出量カルテ」のHPを下にスクロールし、「各団体ダウンロード」の部分を表示してください
- 貴市町村が位置する都道府県をドロップダウンリストから選択した上で、貴市町村をその隣のドロップダウンリストから選択し、「決定」を押してください
- 表示される2つのファイルから「EXCEL」を選択し、ダウンロードしてください

貴市町村の「自治体排出量カルテ」の読み方については、  
次ページをご参照ください

## 「自治体排出量カルテ」HP

環境省  
Ministry of the Environment

本文へ | 音声読み上げ・文字拡大 | お問い合わせ | サイトマップ | Google 提供

トップ | 概要・法的根拠 | 策定・取組状況 | 取組事例 | 策定・実施マニュアル・ツール類 | 各種お知らせ | よくある質問 | 国の財政支援等 | 支援システム(LAPSS) | 関連サイト

### 自治体排出量カルテ

■ 全国版

[全国版\[EXCEL : 1.6MB\]](#)  
[全国版\[PDF : 1.23MB\]](#)

※ここでの全国値は、都道府県別エネルギー消費統計等をベースとした全市町村別の現状推計の排出量を足上げた値であり、我が国の温室効果ガス排出インベントリに記載される排出量に必ずしも一致しない点にご留意ください。

■ 各団体ダウンロード (1)

自治体排出量カルテのダウンロードの手順は、以下のとおりです。

(1) 都道府県の担当の方は、都道府県のプルダウンを選択してください  
市町村の担当の方は、都道府県のプルダウンと市町村のプルダウンを選択してください。  
(2) 決定ボタンを押すと、該当する排出量カルテのEXCELファイル、PDFファイルが表示されます。

東京都 | 千代田区 | 決定 (2)

[13101 東京都 千代田区 \[EXCEL : 1.38 MB\]](#) (3) [千代田区 \[PDF : 1.2 MB\]](#)

- ①
- ②
- ③
- ④

# 次に、「自治体排出量カルテ」を活用して、 貴市町村のCO2排出量の傾向を把握してください（2 / 3）

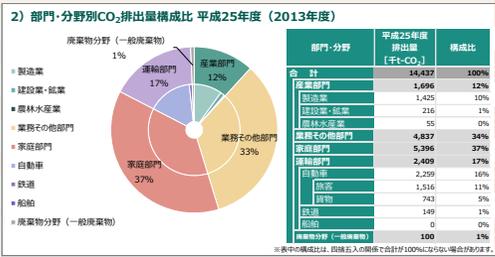
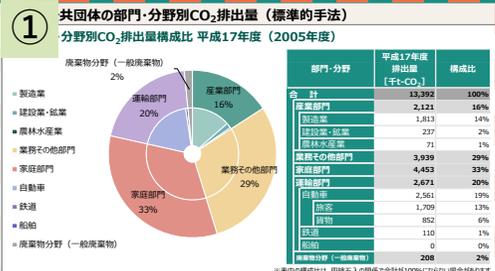


## STEP 1（続き）

- 貴市町村の「自治体排出量カルテ」で「①CO2排出量の現状把握」のシートを開き、以下の項目をご確認ください。

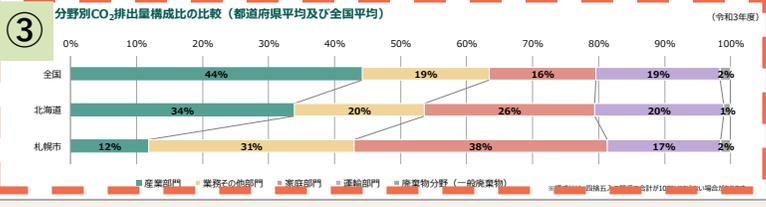
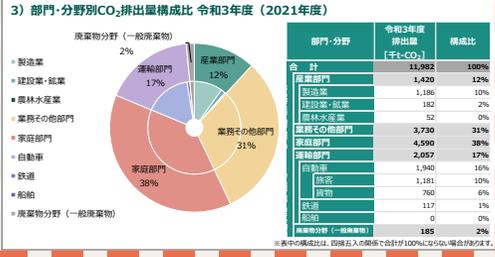
### 自治体排出量カルテ① CO<sub>2</sub>排出量の現状把握

札幌市



部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量推移表 (千t-CO<sub>2</sub>)

部門・分野	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	13,227	11,843	11,357	13,300	14,974	14,437	14,903	14,399	13,898	13,916	13,499	13,045	12,331	11,982
産業部門	1,747	1,604	1,435	1,642	1,709	1,696	1,600	1,662	1,666	1,755	1,709	1,659	1,630	1,420
製造業	1,496	1,373	1,204	1,380	1,380	1,425	1,330	1,398	1,407	1,499	1,472	1,435	1,384	1,184
建設業・鉱業	184	139	131	232	281	216	208	200	188	192	179	166	188	18
農林水産業	66	72	66	61	62	55	62	65	70	63	58	58	57	52
業務その他部門	4,199	3,703	3,315	4,187	5,201	4,837	5,079	4,914	4,213	4,225	4,246	3,809	3,693	3,730
家庭部門	4,685	4,071	4,049	4,935	5,507	5,396	5,772	5,371	5,518	5,456	5,071	5,185	4,796	4,559
自動車	2,488	2,467	2,471	2,440	2,455	2,409	2,345	2,363	2,345	2,345	2,310	2,234	2,068	2,051
鉄道	2,373	2,287	2,255	2,264	2,288	2,259	2,201	2,199	2,226	2,211	2,180	2,113	1,942	1,964
船舶	1,569	1,589	1,583	1,563	1,566	1,516	1,451	1,447	1,444	1,430	1,409	1,374	1,210	1,181
貨物	804	768	773	743	742	743	750	751	782	781	778	739	733	760
航空	115	110	115	134	146	149	144	141	138	133	124	121	116	111
陸揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃棄物分野（一般廃棄物）	109	98	98	96	103	100	107	112	137	135	163	158	154	185



- ① 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量
  - この項目では、**貴市町村における部門・分野別のCO<sub>2</sub>排出量とその構成比と推移**（2005年度、2013年度、2021年度）を確認できます
- ② CO<sub>2</sub>排出量の推移
  - この項目では、**貴市町村における部門・分野別のCO<sub>2</sub>排出量と総排出量の推移**（2008年度～2021年度）を確認できます
- ③ 都道府県・全国との比較
  - この項目では、最新年度（2021年度）における**貴市町村、貴市町村が位置する都道府県、全国の部門・分野別排出量構成比を比較**できます。

# 次に、「自治体排出量カルテ」を活用して、 貴市町村のCO2排出量の傾向を把握してください（3 / 3）

## STEP 2

- 「STEP 1」で収集・整理したデータを、別添「区域施策編（ひな形）」の第4章2（P.20～22）の該当部分に転記し、グラフや図表の上部に排出量の傾向等のデータから読み取った内容を整理して記入してください。



該当する表・グラフなどが転記され、文章が完成した「区域施策編（ひな形）」（P.20～22）ができましたら、課題③は完了です！

研修当日は、参加者全市町村分の「自治体排出量カルテ」がダウンロードされたパソコンを利用しますので、持参する必要はありません

### 別添「区域施策編（ひな形）」

2. ●●市町村の温室効果ガスの現況推計

#### 事前課題③ 自身の自治体のCO2排出量の傾向を把握する

「地方公共団体実行計画策定・実施支援サイト」の「自治体排出量カルテ」をダウンロードし、貴市町村の排出量について、下記の図表を差し替えてください。

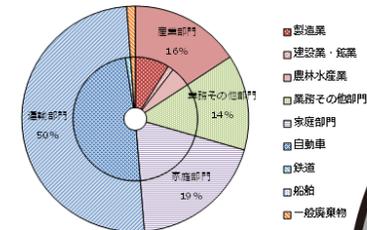
また、排出量が多い部門、その経年変化の傾向等を把握し、以下（黄色セルの箇所）に記入してください。

#### （1）最新年度の温室効果ガスの推計結果

●●市町村では、環境省が地方公共団体実行計画策定・実施支援サイトにて毎年度公表している「自治体排出量カルテ」に掲載された値を基に、区域施策編が対象とする部門・分野の温室効果ガスの現況推計を行いました。

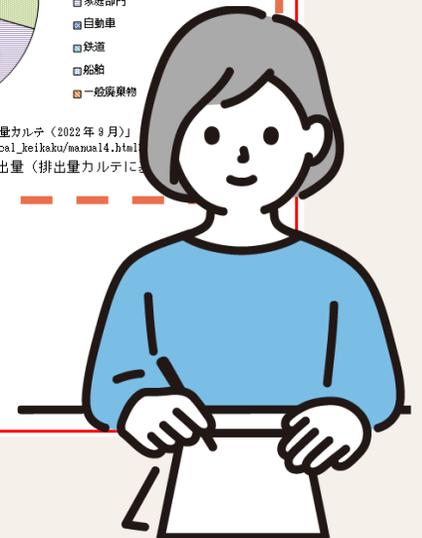
現況推計結果は以下のとおりです。

●●市町村では、●●部門からの排出量が●●%で最も多く、次いで●●部門からの排出量が●●%、●●部門からの排出量が●●%の順で多かったです。

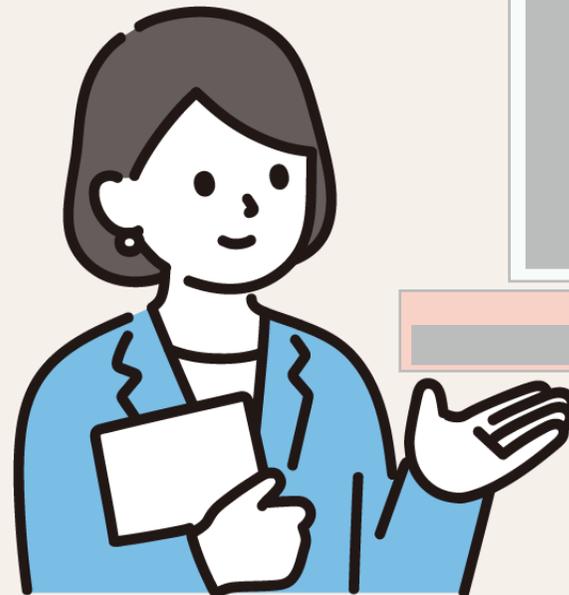


出典：環境省「【データ】自治体排出量カルテ（2022年9月）」  
<[https://www.env.go.jp/policy/loal\\_keikaku/manus14.html](https://www.env.go.jp/policy/loal_keikaku/manus14.html)>

図▲ ●●市町村における部門別排出量（排出量カルテに



最後に、下記の**事前アンケート**にご回答ください



URL :

当日はどうぞよろしくお願いいたします。  
質問等ございましたら、下記メールアドレスまでご連絡ください：

# 余力があれば、以下の追加課題もご対応ください（1 / 2）

## 追加課題①

- 貴市町村が位置する都道府県の環境基本計画などから、「**基準年度の排出量**」、「**目標年度の排出量**」等の情報を検索し、別添「**区域施策編（ひな形）**」の第1章2（3）（P4）と第4章4（P19）に転記してください。

### ポイント

#### 基準年度の排出量

- CO2排出量の推移を計算するにあたって、排出量を比較するための基準年度（●年と比べて増加・現象）を設定する必要があります。
- 都道府県によって異なりますが、2013年度を基準年度とすることが一般的です。
- 自身の都道府県の環境基本計画や再エネ導入戦略などを検索し、その中の排出量の推移や将来推計に関する項目で確認しましょう。

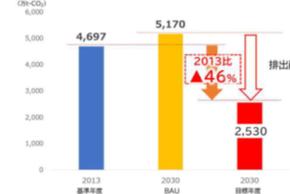
#### 目標年度の排出量

- 目標年度の排出量は目標年度（2030年度、2050年度）までに基準年度と比べてどの程度の排出量削減を目指すかを示すものです。
- 2030年までに46%削減、2050年までに実質ゼロの目標設定が最も多いですが、自身の都道府県の目標も確認し把握しましょう。

### 別添「区域施策編（ひな形）」

追加課題① 都道府県の動向を把握する  
貴市町村が属する都道府県における、「基準年度の排出量」、「目標年度の排出量」等の情報を検索し、下記に掲載してください。

(4) 地球温暖化対策を巡る●●県の動向  
●●県では、●●県環境基本指針（2021～2030年度）を●●年●●月に策定し、2050年までに●●県内のCO2排出量を実質ゼロとする最終目標を掲げ、中間目標として、2030年度までに県内の温室効果ガス排出量の●●%削減を目指すこととしています。



出典：●●県「環境基本指針」  
<https://www.●●>  
図▲ (例) ●●県環境基本計画における2030年度の部門別削減目標

表▲ (例) ●●県環境基本計画における2030年度の部門別削減目標

部門	2013年度 (基準年度)		2030年度 (目標年度)					
	A	B	C	D	E(C+D)	F(B-E)	G(A-F)	H(G/A)
産業部門	998	1,144	262	361	623	521	477	47.8%
業務その他部門	1,022	1,075	186	435	621	454	568	55.6%
家庭部門	1,116	1,244	202	525	727	517	599	53.7%
運輸部門	966	981	295	25	320	661	305	31.6%
産業物への工業プロセス	116	116	51	51	51	65	51	44.0%
工業プロセス	251	216	3		3	213	38	15.1%
その他温室効果ガス	228	394	295		295	99	129	56.6%
合計	4,697	5,170	1,294	1,346	2,640	2,530	2,167	46.1%

出典：●●県「環境基本指針」  
<https://www.●●>

### 第4章 温室効果ガス排出量の推計

1. ●●県の温室効果ガス排出量

追加課題① 都道府県の動向を把握する  
貴市町村が属する都道府県における、「最新年度の排出量」、「貴市町村の最新年度と年度を併せてください」を検索し、下記の図表を差し替えてください。

●●県における温室効果ガス排出量（2017年度）の構成は、産業部門が3割以上を占め、次いで運輸、家庭、業務部門となっています（図▲）。各部門の温室効果ガス排出量の推移は図△のとおりです。



出典：●●県  
<https://●●>  
図▲ ●●県の温室効果ガス排出量（2017年度）の構成



出典：●●県  
<https://●●>  
図△ ●●県の部門別排出量の推移



# 余力があれば、以下の追加課題もご対応ください（2 / 2）

## 別添「区域施策編（ひな形）」

### 追加課題② 地域の課題を把握する

自治体で抱えている地域課題について検討し、以下（黄色セルの箇所）に記入してください。参考例等も参照の上、複数列举してください。

地域の課題	内容
(参考例)	
・農地の獣害被害の増加	⇒イノシシ等による被害の相談件数(苦情)が増加傾向
・少子高齢化、若者の地域外流出による労働人口の減少	⇒●●市町村統計書において統計就業人口数が減少傾向
・企業経営者の後継者不足	⇒黒字企業含めた企業の倒産件数が増加傾向
・地域コミュニティの弱体化	⇒地域のイベント開催数、規模等が縮小傾向
・空き家の増加に伴う防犯面の懸念、景観の悪化	⇒●●市町村統計書において空き家軒数が増加傾向
・公共工事の減少による雇用機会の縮減	⇒財源不足による公共工事の発注件数、発注金額(総額)が減少
・観光施設等の老朽化による観光者の減少	⇒●●の観光施設(宿泊施設)は築●●年で老朽化が目立ち、●●市町村統計書において観光者数が減少傾向
・公共交通機関の減便による移動手段の不便	⇒路線バスの●●区間が、令和●●年に廃線(企業の撤退)
・豪雨によるライフラインの寸断	⇒令和●●年豪雨で停電が発生し、復旧に時間がかかった。
・災害時の被害の増加	⇒土砂災害の被害件数が増加傾向、●●市町村統計書において、森林整備面積が減少傾向

※黄色セルの箇所は必ず記入してください。黄色セル以外の箇所は「以外」で構いません。空白の箇所は記入しなくても構いません。

## 追加課題②

- 貴市町村が抱えている地域課題について検討し、別添「区域施策編（ひな形）」の第1章2（5）（P9）に記入してください。

## ポイント

### 「地域課題」とは？

- 地域課題とは、自治体が経済・社会・自然などの面で抱える課題のことです。少子高齢化、森林面積の減少、自然災害、空き家の増加などといったような課題が考えられます。



### 地域課題と脱炭素化の関係は？

- 脱炭素を成長の機会と捉える今の時代では、地域が主役となる、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する地域脱炭素が求められています。つまり、各市町村が再エネ等の地域資源を最大限活用し地域の脱炭素化を推進しつつ、地域の経済を循環させ、防災や暮らしの質の向上を図り、地域課題の同時解決も図ることが重要です。
- そのため、脱炭素の施策を検討する際に、自身の自治体が抱えている地域課題は何か、それらをどのように脱炭素化を通じて解決できるか、なども考慮することが重要です。
- 余力のある貴市町村はぜひ、事前課題として課題②で整理した貴市町村の特徴に関する情報や、貴市町村の既存の計画等を基に、貴市町村にとって何が課題となっているかについて検討し、「区域施策編（ひな形）」に追記しましょう。

地球温暖化等に関する課題以外の課題も含めても構いません

